

京丹波町図書館
2周年記念地域資料活用型特別企画

郷土民話 × 紙芝居 音楽と共に

京丹波町の郷土芸能資料を使った 創作紙芝居発表会

演目

〈一部〉紙芝居|小川よしのり 音響|侘嶋草賢



和知太鼓 発祥の物語

なつくさ に の く に ばなし

夏艸丹ノ国噺

下山 霊験伝説

お なが の つばき

尾長野の椿さん

〈二部〉義太夫節 演奏|鶴澤友球 (弾き語り)

和知太鼓 演奏|和知太鼓保存会、凜

2025.3.20 木祝

開場 13:00 開演 13:30 終了予定 (15:10)

会場

京丹波町立和知ふれあいセンター
(京都府船井郡京丹波町本庄花ノ木1-4)

入場 無料 申込 不要

(写真) 藤森神社 一帯 | 提供: 和知写友会 廣瀬 誠

京丹波町に古くから伝わるお話が、子どもから大人までわかりやすく伝わる
オリジナル紙芝居になりました。引き込まれるストーリーや臨場感ある絵・声・音の一体感を
また二部の音楽会では、体に響く和楽器の演奏をお楽しみいただけます。
京丹波町の伝承や文化を身近に感じ親しめる機会です。ぜひふるってご参加ください。

主催: 京丹波町図書館 協力: 和知人形浄瑠璃会・和知太鼓保存会・森の京都 DMO



関係者の紹介

紙芝居 小川 よしのり

京都市出身、京丹波町在住。18才の時に筋ジストロフィーと診断される。検査入院中に書いた絵本のシナリオを2022年 紙芝居に編集し『紙芝居ボキールの時計』として上演したことをきっかけに、ひとり人形劇まるに弟子入りし、翌年創作紙芝居師としてプロになる。2024年京都演劇フェスティバル出演。同年、イタリアアッシジ、フィレンツェにて紙芝居オンライン上演・紙芝居文化推進協議会紙芝居コンテスト優秀賞。NHK おはよう日本、テレビ東京生きるを伝える等出演。現在、京都市とフィレンツェの姉妹都市60周年事業も手掛け、世界紙芝居フォーラムや人権の講師としても活躍中。



絵 石田 さな

京丹波町出身。南丹市在住。(旧)銅駝美術工芸高校洋画専攻卒業。和知中学時代には、授業にて和知人形浄瑠璃を選択。義太夫三味線を学ぶ。イラスト、デザインで各所にて活躍。2024年(辰年)丹波マークスにて、正月生け込みへ龍の絵を描き好評を博す。若い感性を活かしたそのデザインには定評があり、今後の活躍を期待される若手アーティストの一人。



義太夫節 鶴澤 友球 つるざわ ともじゅ

滋賀大学大学院修了。修士論文の研究をきっかけに義太夫節に傾倒。2000年(故)鶴澤友路師(人間国宝)に入門。2003年に鶴澤友球と名乗り、翌年、(財)人形浄瑠璃因協会に入会。以後、フリーランスの義太夫節三味線奏者として演奏・研究・教育の各方面で活動中。



音響 侘嶋 草賢 たじま そうけん

京都市内の会社にてサウンド制作に携わる傍ら、ひとり人形劇まるの音響を長年担当。昨年より思うところあり日本の伝統文化の継承と発展に音の分野から貢献したいと考えるに至り、侘嶋草賢という活動名を定めた。昨年11月同名義にてピアノ曲「ひふみよいむなや」が初演された。



和太鼓・篠笛 凜 りん

京丹波町在住。鈴鹿市ときめきカルチャー大使。鈴鹿市文化事業団評議員。森の京都文化観光サポーター。名古屋市にて和太鼓プロチームを創設後、中心メンバーとして活躍。2010年よりソロ活動を展開。演奏以外では指導、楽曲提供等を行っている。



人形浄瑠璃 和知人形浄瑠璃会

京都府無形民俗文化財。平成9年文部大臣表彰受賞。人形1体を一人で操る「一人遣い」が特徴。起源は、江戸時代末期。大迫村(京丹波町大迫)にて、農家の閑散期に嗜んだ「人形回し」が始まりとされる。



※ 当日の上演はございません

人形の頭(かしら)は、淡路型と呼ばれる大ぶりの種類であり現存する人形の頭の中には、名工の誉れ高い阿波の「天狗屋久吉」(天狗久)の作もある。

【森の京都】京丹波町の民俗芸能「和知人形浄瑠璃」動画 ▶



和太鼓 和知太鼓保存会

京丹波町指定文化財。約1000年前、源頼光が大江山の鬼退治のため京を出発。道中で雷雨を凌いだ藤森神社(旧和知町)を出陣する際、村人が太鼓を打ち鳴らし、兵士を鼓舞して送り出したのが「和知太鼓」の起源とされる。



「地打ち」、「大打ち」の2人が1つの太鼓を打つ基本形を継承しつつ、時代に合わせ「乱れ打ち」など勇壮な技法も取り入れて、人びとの喜怒哀楽を豊かに表現するものに進化している。

【森の京都】京丹波町の民俗芸能「和知太鼓」動画 ▶



京丹波町図書館の郷土紙芝居制作事業

京丹波町図書館では、町内の伝承や文化を保存・継承・発信することを目的に、令和6年度から、郷土の民話の掘り起こしと、紙芝居の作成に取り組んでいます。紙芝居づくりは、町内在住の創作紙芝居師 小川よしのりさんを中心に、多くの方々のご協力のもと進められています。完成した作品は、小川さんによる紙芝居動画として公開予定です。



おかげさまで、京丹波町図書館は2周年を迎えることができました。今後も“学びを支え、未来をひらく、みんなに身近な「どこでも図書館」”を基本理念に、さまざまな取り組みを進めてまいります。

